

正覚寺だより

# スジャータ

67

令和2年(2020)  
元旦発行

【スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である】



法然上人

浄土宗

開宗850年

お念佛からはじまる幸せ  
令和6年(2024)

新総代紹介

知恩院参拝



入船山記念館

(旧海軍 呉鎮守府長官々舎)

[住職のつぶやき]

## 小欲知足

— 飛行機 初搭乗の思い出 —



[住職のつぶやき]

# 小欲知足

## — 飛行機 初搭乗の思い出 —

住職／山縣 正紀

### (1)

46年も前の古い話で恐縮だが、昭和49年(1974)のことである。

2年前にアメリカから返還されたばかりの沖縄から、私は大阪まで1人で飛行機に乗る予定だった。翌々日に行われる京都の佛教大学卒業式に出席するためである。

空席があれば約50%オフで搭乗できる、当時のスカイメイトという割引制度を利用するつもりだった。その頃、航空機の利用はまだ今ほど一般的ではなく、私の初めての飛行機体験である。

### (2)

ところが那覇空港で待っている時、羽田発の日航機が着陸直前にハイジャックされ、着陸後6時間余り乗客を人質に立てこもったのだった。現在からは想像出来ないほど、小さな空港が大混乱になった。

その機内には、当時トップアイドルの1人だった沖縄出身の南沙織みなみさおりさんも乗っていた。と、その夜のニュースで知った。

そんなことが起こったので、その日の便は欠航。仕方なく翌日の便を正規料金で予約して、ぎりぎりの卒業式前日に京都へ帰ることになってしまった。それも福岡で乗り継ぎをする便だった。

### (3)

翌日、好天と座席位置にも恵まれ、小さな窓に額をつけるようにして眼下



を見て飽きなかった。

九州南端に近づいた時、当たり前のことだけど、見える地形が見慣れた地図そのままな事にちょっと感動したのである。

福岡市街の上空にいたって着陸直前の低空飛行から、見おろす街並みや連なる車、初めての経験でとても新鮮だった。

夕暮れの近づいた頃、大阪上空で再び着陸態勢にはいる。家々の窓から漏れ始めた明かり、その一つ一つに家庭や人生があるのだと思うと不思議な気がした。

だが上空わづらから眺めていると、慌ただしい日常の煩わしさなど小さな事に感じて、気持ちが大らかに和んでくるのだった。

ひととき大きな鳥になって悠然と飛び、些細ささいなことに拘こだわらず何事も受け入れられるような、そんなゆったりとした気持ちになったのである。

昨今、どこの空港も市街地から遠くなって街の上を旋回することは少なくなった。

だが今でも離着陸の度に、初搭乗の時に感じたあの寛大な気持ちを思い出すのである。



(4)

ライト兄弟が初めて飛行機で滑空したのは1903年。それから現代の航空機に至るまでに僅か117年しか経っていないことを思うと、その進歩の速さに驚愕する。

あらゆる技術の発達は益々加速され、すでに宇宙の時代。宇宙船から地球を眺めれば飛行機から市街地を見るどころではない感激があるだろう。もっともっと壮大で神秘的な感情が沸いてくるに違いない。

だが、宇宙開発は莫大な予算と、大きな環境破壊も伴い軍事技術とも繋がっている。決してロマンばかりではないと思う。

医療技術の発達も素晴らしいが、「生命の誕生」に関しては、すでに踏み込んではない領域まで侵しているのではないだろうか？

原子力発電はどうか？

リニアモーターカーが本当に必要なのか？

(5)

私たち人類は、

「何を目指しているのか？」

「何処へ行こうとしているのか？」

「このままで大丈夫なのか？」

私たちのあらゆる欲は、パワーにもエネルギーにもなり必要なものである。だがそれには際限が無い。それをコントロール出来ないと、バランスを崩した飛行機のように墜落してしまう可能性がある。

「小欲知足」

つまり、

「欲を小さく、足るを知る」

私たちにはすべての面で、もう少しそんな気持ちが必要ではないだろうか。

正覚寺だより「スジャータ」は年頭の賀状も兼ね、全檀信徒にお送りしますので、昨年ご不幸があったご家庭にも年賀として届く失礼をお許し下さい。

本堂で祈念しております。

毎朝

争いもなく徳を尊び  
人を思いやり礼儀正しい  
そんな世の中になりますように

平和で毎日が明るく  
天候も穏やかで  
災害や病気の流布もなく

本年もよろしくお願ひ  
申し上げます。



## 修正会と新年互礼会

令和2年1月11日(土) 午前11時より

■ 今年のアトラクションは本格的なマジックを予定しています。ご遠慮なくお申し込み下さい。

会費

／ 3,500円(お弁当・景品他)

申込み

／ 1月7日までに電話などで

## 新総代ご紹介

永年、総代として正覚寺を盛り立てて下さいました鍋島雅和氏と若本祐昭氏が令和元年6月に退任されました。

在任中には、正覚寺開山100周年の行事、建物整備事業など大変ご尽力頂き、心より感謝申し上げます。その意志を新しい総代さんが引き継いで下さることになりましたのでご紹介申し上げます。

■ (有) グルーヴィン  
代表取締役 桑山 秀樹 氏

■ (株) 篠本照明  
代表取締役 江口 泉 氏

何卒よろしくお願い申し上げます。



桑山 秀樹 氏



江口 泉 氏



令和2(2020)年

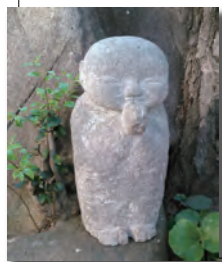
6月5日(金) から1泊2日

浄土宗「総本山 知恩院」  
参拝のご案内

- 平成23年から始まった国宝「御影堂」の平成大修理が無事に完成しました。知恩院に1泊して翌日は、誕生寺（法然上人ご誕生の地）と菩提寺（法然上人ご出家の地）へお参りします。
- 知恩院の宿泊施設「和順会館」は、一般的なホテル以上に整った処で快適に過ごして頂けると思います。
- 詳しくは案内状を同封しております。一緒にお参り致しましょう。

## 春のお彼岸

3月20日(祝・金) 朝10時より



講師：兵庫県三木市  
光明寺  
小泉 慶典 師

総本山知恩院

## 高齢者招待祝賀会

今年80歳を迎える方々どうぞご参加下さい

- ◆日 時 / 令和2年4月18日(土) 11時~16時まで
- ◆場 所 / 京都・総本山知恩院
- ◆招待者 / 昭和15年生まれの方と同伴者1名
- ◆申込み / 2月末日までに正覚寺へ

◎ご出席の方には詳しい案内状をお送りします。

## 義援金のご協力 ありがとうございました

昨秋の台風による大災害に対して義援金箱を境内2カ所に設置したところ、皆様方から30,725円をお預かり致しました。住職の志を加えて50,000円を正覚寺参詣者一同として、日本赤十字社へ直接送金致しました。中国新聞社の受付期間がすでに終了してしまいましたので。



## 感謝録

- 正覚寺では、寄付者ご芳名を本堂などへ張り出すことはしておりませんが、「感謝録」と名付けた帳面に記載し記録として未永く残してまいります。

## 平成31(令和元)年 檀家会費・会計報告

昨年も、皆さまのご協力をいただき、誠に有り難うございました。

(単位：円)

### 収入の部

年会費・一口 3,000円  
受 付・11月末日まで随時

- 送金には郵便振替が便利です。  
口座番号・01300-5-13754  
加入者名・浄土宗 正覚寺  
※近くの郵便局にある振替用紙をご利用下さい。
- ご持参頂ければ、お彼岸などの法要の時にも受付けております。

### 支出の部

○今まで未納の方々にも、今年よりお納め頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。

フリースペース イチサン 土曜

毎月第1・3土曜日

12:00~15:00

本堂、庭、座敷などを  
開放しています！

みなさんのアイディアで  
ご自由にお使い下さい

○すでに今、行われている詠唱、ヨガ、ディンプルアートなどには、いつからでも、どなたでもご自由に参加出来ます。



《ディンプルアート 作品例》

## 3月までのおもな行事

1月	11日(土) 11:00~13:00	修正会と新年互礼会
	18日(土) 10:00~12:00 13:30~15:00	土曜塾(住職の法話) ヨガ・詠唱・ディンプルアートなど
2月	1日(土) 10:00~12:00 13:30~15:00	写経の会 詠唱・ディンプルアートなど
	15日(土) 10:00~12:00 13:30~15:00	土曜塾(住職の法話) ヨガ・詠唱・ディンプルアートなど
3月	7日(土) 10:00~12:00 13:30~15:00	写経の会 ヨガ・詠唱・ディンプルアートなど
	20日(祝) 10:00~12:00	春彼岸会(講師:小泉慶典 師)

○どなたでもご自由にお参り下さい。一回限りのご参加でもかまいません。

## 令和2年 年回表

1 周忌	平成31年・令和元年
3 回忌	平成 30 年亡
7 回忌	平成 26 年亡
13 回忌	平成 20 年亡
17 回忌	平成 16 年亡
23 回忌	平成 10 年亡
(25 回忌)	平成 8 年亡)
27 回忌	平成 6 年亡
33 回忌	昭和 63 年亡
37 回忌	昭和 59 年亡
50 回忌	昭和 46 年亡

## 住職の長男に続いて次男にも 新しい命を授かりました。



去る令和元年7月6日、現在京都在住の次男知恩ちおんと恵夫婦めぐみに元気な女の子を授かりました。“夏恵なつえ”と名付けられ、すくすくと成長しております。



昨年の2月、長男の男児誕生の時と同じ様に、母も子も何のトラブルもなく今日まで無事に過ごしていることを思うと、恵まれていることに大いに感謝するばかりです。



## あ と が き

- 昨年9月1日(日)に港区の大本山増上寺で開催した東京法要には、関東在住の方が大勢お参り下さいました。当日ご回向した皆さまの大切な方々は、とても喜んで下さったことでしょう。
- 令和2年の東京法要は9月13日(日)に開催致します。
- 生まれた時は丸裸、ゆく時は無一物。何ごとにも、あまり執着しないのが良いと思います。



発行所／〒737-0033 呉市寺本町2-1 浄土宗 正覚寺  
でんわ／0823-21-6086 Eメール／shoukaku@orange.ocn.ne.jp  
F A X／0823-22-9922 郵便振替／01300-5-13754